

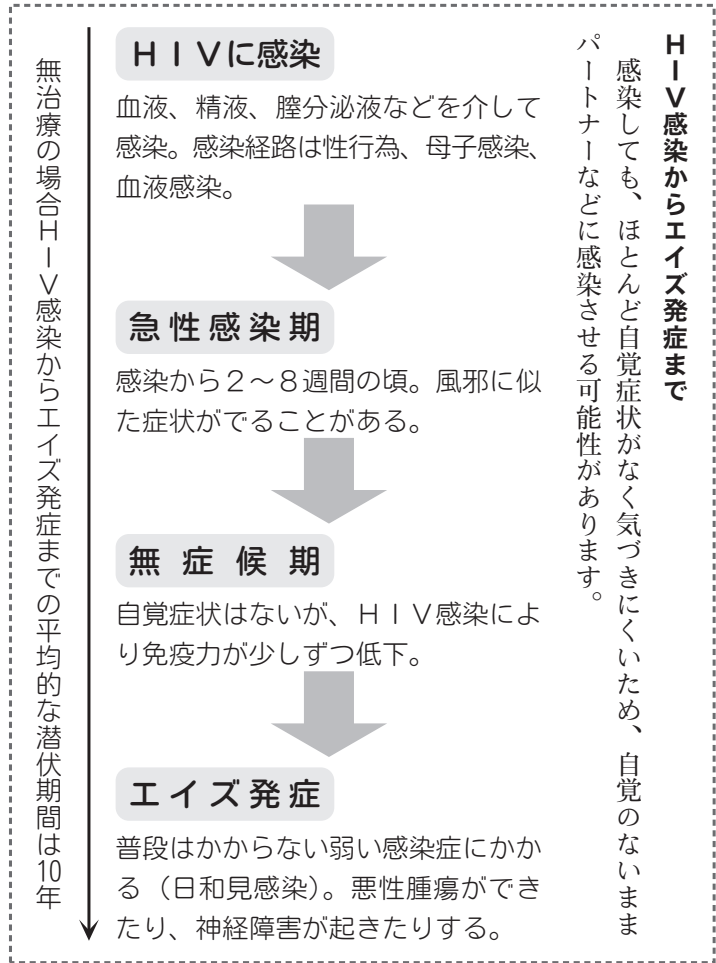


6月1日(金)～7日(木)
エイズ検査普及週間



エイズ検査はあなたにも必要です

問い合わせ 保健介護課 ☎2140



平成23年の新たなHIV感染者・エイズ患者は1,486件(速報値)と、依然として増加傾向にあり、未だ予断を許さない状況となっています。診断時にすでにエイズを発症している方が約3割を占めており、早期発見のための検査機会を逸していることによるものと考えられます。

エイズとは
HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の感染による免疫力の低下で引き起こされる病気の総称です。HIVへの感染はエイズではありません。

次のことでは感染しません
職場や学校など日常的な接触でHIVに感染する危険はありません。

- せき・くしゃみ
- 握手や抱擁
- 同じ食べ物をつつく
- トイレの便座やドアノブ
- つり革・手すり
- コップの回し飲み
- プールや共同浴場
- OA機器や事務用品の共用 など

HIV抗体検査・肝炎ウイルス検査

お問い合わせ 県西部保健所 ☎0829-321181(内線2412)

HIV抗体検査は匿名で受けられます。秘密は厳守します。

とき 6月20日(木)

HIV抗体検査
10時～11時30分

肝炎ウイルス検査
13時～14時30分

※ 両検査とも無料です。

ところ 県西部保健所(廿日市市桜尾2丁目2番68号廿日市第2庁舎)

申し込み 県西部保健所へ。

感染の有無を知るために、検査を受けましょう

心あたりがある方は、ためらわずにすぐに検査を受けましょう。(ただし、感染したと思われる日から3カ月以上経過しないと、正確な判定ができない場合があります)

保健所の検査は匿名で受けられ、プライバシーは厳守されます。

救急医療を利用するには



問い合わせ 保健介護課 ☎2140

夜間や休日にはけがや病気をしてもあわてないでください。症状や緊急度に応じて、初期・2次・3次の救急医療体制が整備されています。

軽症で緊急性がない方が、気軽に2次・3次の病院で救急受診をすると、本来、このような病院での受診を必要としている重症者への対応ができなくなったり、必要な治療が遅れる恐れがあります。市、県西部地域保健対策協議会、広島西地域メディカルコントロール協議会は、症状や緊急性に応じた、適切な医療機関で受診するように、協力をお願いしています。

休日や夜間に診療している病院・診療所を探すとき

- 広島県医療機関案内サービス ☎0120-169-901 (24時間)
- 救急医療NET HIROSHIMA Aホームページ <http://www.qq.pref.hiroshima.jp>

こどもの救急

- 小児救急医療相談電話 ☎082-505-1399 19時～翌朝8時(毎日)
- こどもの救急ホームページ <http://kodomo-qq.jp/>

大竹市・廿日市市の救急医療体制

	患者の状態	夜間(毎日)	休日・祝日の昼間
初期	比較的症状が軽い	廿日市市休日・夜間急患診療所 (廿日市市新宮1丁目13番1号) 内科(15歳以上) 休日・祝日 18時～22時 毎日(休日・祝日を除く) 19時～22時 ☎0829-20-1011 ※電話による問合せは21時45分まで	大竹市休日診療所 (大竹市立戸2丁目1番16号) 内科・外科9時～17時 ☎52-0330 (12月30日～1月3日は、小児科も対応)
2次	入院・手術が必要	広島西医療センター(大竹市玖波4丁目1番1号) ☎57-7151 JA広島総合病院(廿日市市地御前1丁目3番3号) ☎0829-36-3111	廿日市市休日・夜間急患診療所 (廿日市市新宮1丁目13番1号) 内科9時～18時 ☎0829-20-1011
3次	生命にかかわる、特に症状が重い	JA広島総合病院(廿日市市地御前1丁目3番3号) ☎0829-36-3111	在宅当番医 各新聞の朝刊、広報紙、ホームページで確認できます。